

農政功績者表彰受賞者の概要（水田農業経営部門）

県名	氏名	内容
福井県 大野市	株式会社 上田農園 <small>うえだのうえん</small>	<p><b>&lt;経営概況&gt;</b></p> <p>(1) 経営面積 189.6ha            (内訳) 水稲65ha、大麦53.7ha、大豆56.2ha、ソバ5.8ha、里芋3.0ha、ジャガイモ5.9ha</p> <p>(2) 経営の特徴</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・会長である上田輝司<small>うえだてるじ</small>氏は昭和62年に家業を引き継いだ後、水稲の作業受託面積を急増させていった。経営面積が30haを超えた平成19年に合同会社上田農園として法人化。令和7年には、更なる事業拡大を図るため、株式会社上田農園に組織変更。受託した農地は行き届いた栽培管理を行っており地域からの厚い信頼を得ている。</li> <li>・大野市上庄地区<small>かみしょう</small>の17集落で670筆余りから133haの農地を受託しており、自作地を合わせると現在の経営面積は約190haの大規模土地利用型経営となっている。水稲依存からの脱却を目指し、特産のサトイモに加え、ジャガイモの栽培にも取り組んでおり、平成20年から奥越地域特産のサトイモを活用した「すこ」、「里芋のコロ煮」などを加工販売し、付加価値の向上と経営の多角化を図っている。</li> <li>・家族経営協定を締結し、加工・直販部門を妻と娘の担当とし主体的に経営に参画できるようにしている。また、育児休暇、介護休暇を含む就業規則を作成し、女性や若い人達が働きやすい環境を提供しており、従業員の確保・定着に繋げている。</li> </ul> <p><b>&lt;功績&gt;</b></p> <p>(1) 地域農業における役割と新たな取り組みによる貢献</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・大規模の水田作に加えて、生産するサトイモについて、機械化栽培体系を構築し、作業時間を慣行栽培の約1/3に短縮することで作付面積を拡大するほか、サトイモ収穫機をメーカーと開発・改良し、作業効率を高めるなど、サトイモの機械化栽培体系は地域のモデルとなっている。</li> <li>・農舎内にコンベアを設置し、作業姿勢の改善と流れ作業による効率化を図ったことにより重労働であるサトイモの調製作業の労働環境が改善され近隣の女性を中心とした地域雇用を生んでいる。</li> <li>・地域で産出されるサトイモの規格外品を買い上げ、加工することで、近隣農家の所得向上につなげるとともに、産地の維持・発展にも貢献している。</li> </ul> <p>(2) その他特徴的な取り組み</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・サトイモに加えて新たにジャガイモの契約栽培に取り組んできており、機械化体系を確立している。既存品目との作業競合が少ないことから、作業時間の平準化にもつなげている。</li> <li>・近隣の認定農業者と農地の交換分合を積極的に進め、経営農地を半径約3km以内に集約しているほか、大豆狭畦密植栽培の全面導入、農業管理システムの活用等により生産性の向上に積極的に取り組んでいる。</li> <li>・稲作で出るもみ殻を作業舎の暖房に活用し、冬季間に行われるサトイモ調製作業の環境改善に取り組んでいる。</li> </ul>

		<p><b>&lt;主な受賞歴&gt;</b></p> <ul style="list-style-type: none"><li>・平成28年 第65回全国農業コンクール（毎日新聞社） 優秀賞</li><li>・令和4年度 福井県農林漁業賞 農林漁業経営者部門</li></ul>
--	--	---

農政功績者表彰受賞者の概要（園芸・畜産経営分野）

県名	氏名	内容
福井県 あわら市	ながた 長田 まさのぶ 正信	<p><b>&lt;主な役歴&gt;</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>平成9年 JA花咲ふくい園芸組織協議会メロン部会長</li> <li>平成11年 JA花咲ふくい園芸組織協議会すいか部会長</li> <li>平成10年 北潟施設園芸生産組合長</li> <li>平成13年～15年 あわら市農業委員</li> </ul> <p><b>&lt;経営概況&gt;</b></p> <p>経営面積 水稲3.8ha            施設園芸85a（内訳）メロン45a、スイカ25a、トマト15a            露地園芸35a（内訳）加工ダイコン30a、ニンジン5a</p> <p><b>&lt;功績&gt;</b></p> <p>（1）就農研修生の受け入れと育成</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>福井県の農業人材育成施設「ふくい園芸カレッジ」が開設する以前の平成21年に就農研修生が独自の判断で栽培を行い、農業技術等の取得を行うトレーニングファーム（ハウス8棟、作業農舎、トイレ等）を福井県で初めて整備し、就農研修生の受け入れを始める。里親農家として令和5年までに多数の就農希望者を受け入れてきた（10名以上）。</li> <li>また、新規就農希望者と地元農家とのパイプ役として就農に向けた農地、空きハウスの仲介など就農支援にも尽力してきた。</li> <li>長田氏が支援を行った新規就農希望者は地域に多数就農し、現在は認定農業者、里親農家に認定されている。長田氏の支援により里親農家となった者は、自身が新たな研修生の受け入れを行うなど坂井北部丘陵地全体の人材育成、産地形成の基盤づくりにつながっている。</li> <li>研修生に対して実践的な農業技術を教えるだけでなく、経営のノウハウや共同作業などの農村のルールなども指導し、地域のリーダーとして活躍してきた。</li> <li>現在も長田氏の指導を受けた農家（里子）や里子の指導を受けた農家（孫里子）への栽培指導や生活での困りごとなどの解決に取り組むなど、福井県における園芸産地形成に多大な貢献を果たしている。</li> </ul> <p>（2）循環型農業の実践</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>農業の基本は「健康な土づくり」との理念から土壌消毒剤を使用せず、自作したばかし肥料や緑肥作物、地域特有の廃棄物であるカニ殻を土づくりに活用することなどで化学肥料・農薬を削減した環境に優しい循環型農業を実践している。</li> <li>循環型農業により、地域の農業生産性を向上させるとともに、持続可能な産地形成に寄与している。</li> </ul> <p>（3）地域ブランドの確立</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>JAのメロン、スイカ部会長を担いJAと連携し栽培技術の普及、品質の安定化を実施し、地域の特産品のブランド化に取り組んでいる。</li> <li>高品質栽培のため、基本技術を確実に実施するとともに、新技術、新品種を積極的に導入し、地域ブランドの価値を高めている。</li> </ul>

(4) 地域コミュニティとの連携

- ・地域農業の共同作業（ハウスビニール張り、共同育苗、堆肥作りなど）を推進する等のコミュニティの連携強化に努めている。
- ・また、農業政策に対する提言を行う等、坂井北部丘陵地の農業リーダーとして、産地形成に寄与している。
- ・40年以上農業に従事し、豊富な知識や技術を持つ傍ら、女性の農業経営参画にも積極的で理解が深く、里親制度がきっかけとなり息子の配偶者となった長田奈津子氏らと平成22年に家族経営協定を締結しており、その中で、農作業、家事・育児、地域活動、消費者に向けた広報活動など、家族各人の得意分野を活かした役割分担を明記、実践している。こうした取り組みはSNS等で発信され、県内の女性農業者から広く共感が集まり、生産農家の模範的な存在となっている。  
このような長田氏の取組がきっかけとなって次世代育成の取組が継続されている。

**<主な受賞歴>**

平成30年度 J A花咲ふくい園芸組織協議会功労賞

農政功績者表彰受賞者の概要（農村振興分野）

県名	氏名	内容
新潟県 三条市	はせがわ とみいち 長谷川 富一	<p><b>&lt;主な役歴&gt;</b>  <small>すごろごう</small>            須頃郷土地改良区            ・平成12年12月1日～平成16年11月30日 理事            ・平成16年12月1日～平成24年11月30日 副理事長            ・平成24年12月1日～令和6年11月30日 理事長</p> <p><b>&lt;功績&gt;</b></p> <p>(1) 排水問題の解決を牽引</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・須頃郷土地改良区管内においては、都市化の進展に伴い宅地排水が増加することによる農業用排水施設の排水機能低下が生じ、たびたび農地の冠水や道路冠水による通行止め等が問題となっていた。</li> <li>・長谷川氏は、須頃郷土地改良区の理事そして副理事長への就任後に、この排水問題について、行政（燕市、三条市）との根気強い折衝を先頭に立って行い、行政の支援を受けた排水施設の大規模改修等の実現に尽力し、当地域の排水状況の向上に大きく貢献した。</li> </ul> <p>(2) 施設の適切な維持管理に尽力</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・また、理事長に就任後、管内に県央基幹病院そして各種教育機関などの建設等により、農地の減少が進む中においても、三条、燕両市の市街地に挟まれている立地条件を活かして、盛んに取り組まれている生鮮野菜の施設園芸等に寄与すべく、老朽化した農業用水利施設の更新及び改修について、土地改良施設維持管理適正化事業の実施などにより、計画的な維持管理に尽力した。</li> </ul> <p>(3) 組織運営の健全化に寄与</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・米などの農作物の価格の低迷、そして肥料や資材、燃料費の価格の上昇など、農業を取り巻く環境は厳しさを増し、さらに都市化が進み農地の減少が進む中において、氏は理事長に就任した。その状況の中で、土地改良区維持管理事業を通じた適正な用水管理の必要性を丁寧に粘り強く説明し、組合員の納得の元、賦課金徴収率100%を堅持し、適正な維持管理を確立した。</li> </ul> <p><b>&lt;主な受賞歴&gt;</b></p> <p>令和3年度 三条市表彰（功労者表彰）            令和6年度 新潟県知事表彰（土地改良功績）</p>

農政功績者表彰受賞者の概要（農村振興分野）

県名	団体名	内容
新潟県 十日町市	NPO法人 <small>ほうじん</small> 越後妻有 <small>えちごつまり</small> 里山協働 <small>さとやまきょうどう</small> 機構 <small>きこう</small>	<p><b>&lt;功績&gt;</b></p> <p>(1) 交流人口の拡大に寄与</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・NPO法人越後妻有里山協働機構は、「まつだい棚田バンク」を活用して、十日町市松代・松之山地域の耕作放棄地に米や雑穀などの作物を導入し、棚田の保全と美しい景観の維持に取り組んでいる。</li> <li>・都市住民が田植えや稲刈りに参加することで、農業への理解と地域への愛着を育み、交流人口の拡大にも寄与している。</li> </ul> <p>(2) 地域経済へ寄与</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・また、「大地の芸術祭」と連携し、棚田や里山を舞台にしたアート作品の展示を通じて、地域資源の魅力を国内外に発信。芸術祭期間中には数十万人が来訪し、地域経済への波及効果も大きい。</li> </ul> <p>(3) 地域への移住を促進</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・さらに、農業実業団「FC 越後妻有」の創設により、若者の地域定着と農業参入を促進し、持続可能な地域づくりのモデルを構築している。</li> </ul> <p>(4) 協働活動を通じた地域おこしに貢献</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・地域住民との協働による収穫祭や伝統行事の継承、環境保全活動（草刈り、水路整備等）も継続的に実施しており、集落機能の維持と地域の一体感醸成に貢献している。</li> </ul> <p><b>&lt;主な受賞歴&gt;</b></p> <p>平成29年度 総務省 過疎地域自立活性化優良事例表彰 総務大臣賞</p> <p>令和3年度 全国棚田サミット優良事例発表団体</p> <p>令和4年度 第9回ディスカバー農山漁村の宝 特別賞（スポーツ連携賞）</p> <p>令和5年度 ふるさとづくり大賞（団体表彰・総務大臣表彰）</p>